



2021年12月24日

各 位

会 社 名 株式会社日本ケアサプライ  
代表者名 代表取締役社長 高崎 俊哉  
(コード：2393、東証第二部)  
問合せ先 執行役員管理本部長 大芝 生生  
(TEL. 03-5733-0381)

### 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関して2025年3月末までに上場維持基準を充たすための各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	4,717人	31,082単位	53億円	19.0%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	—	○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

### (1)基本方針

当社は、「健康長寿社会への貢献」の社是のもと、①持続的な成長と中長期的な企業価値向上及び②株主・投資家の皆様とのコミュニケーションと情報発信の一層の充実等により、当社株式への投資の魅力を高め、投資家層の拡大に努めると共に、長期的なご支援をいただけるよう取り組んでまいります。

### (2)課題及び取組内容

当社は、上場維持基準を充たしていない流通株式比率の改善には、投資対象としての当社株式に対する認知度の低さや、当社の株主構成においては当社株式を継続して保有いただいている大株主を中心とした安定株主が多いことに起因する流動性の低さが課題であると認識しております。

当社は現状の課題を踏まえ、上場維持基準を充たすために、以下の取組を進めてまいります。

#### ①主要株主をはじめとする大株主の当社保有株式比率の引き下げ

主要株主をはじめとする大株主に対して、市場での当社株式売却を要請する等、流通株式数の増加に寄与するよう取り組んでまいります。また、一部の株主から当社株式を売却する意向が示されており、今後、流通株式数が改善される見込みであります。

なお、大株主への当社株式売却を要請する一方で、当社株価への影響を考慮しつつ流通株式数を増加する為には相応の期間がかかるものと認識しているため、2025年3月までを計画期間と設定しております。

#### ②持続的な成長と中長期的な企業価値向上

2018年に創立20周年を迎えた当社は長期ビジョンを策定し、「介護を必要とする人への自立支援と介護者の負担軽減に貢献する企業」となること、また、「健康長寿の延伸に貢献する企業」となることを目指しており、福祉用具レンタル卸のリーディングカンパニーから「高齢者生活支援企業」への飛躍の実現に取り組んでおります。「健康長寿社会への貢献」の社是のもと、福祉用具レンタル卸の更なる成長とともに、生活支援物販や食事サービスを始めとする当社の強みを活かした高齢者への生活支援サービスを創出し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図り、投資対象としての魅力を高めてまいります。

#### ③IR活動の推進・強化、投資者向けの情報発信の充実

当社は、自社ホームページや決算説明会等のIR活動の推進・強化により、投資家層を中心に当社認知度を向上させ、当社株式の需要を改善するとともに、株主・投資家の皆様に長期的なご支援をいただけるよう継続的なコミュニケーションと情報発信の充実を図ってまいります。

なお、自社ホームページ (<https://www.caresupply.co.jp/>) については、情報発信の強化の為、2021年7月にリニューアル（IRサイトを除く）いたしました。今後はIRサイトのリニューアルを実施するとともに、更なる情報発信の充実を図ってまいります。また、今後も継続して機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催、個別面談により多くの投資家との対話を行う予定であります。

以上